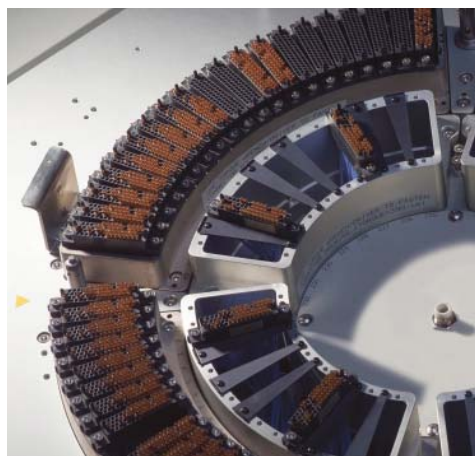


# 6.5Gbps High-Speed Interface Solution

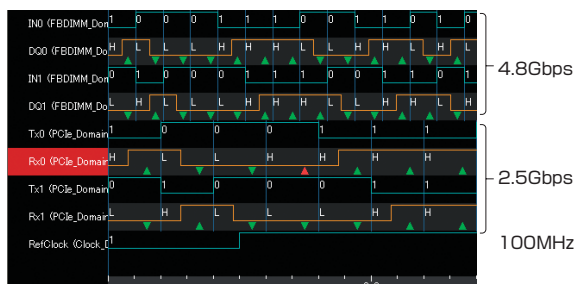
高速インタフェースを搭載した最先端デバイスの測定に最適な環境、自由度の高いテスト・ソリューションを提供します。



高密度同軸コネクタをパフォーマンス・ボードに搭載



イコライザ機能によりデバイス出力を補正



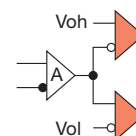
T2000 Wave Tool によるマルチ・タイム・ドメイン表示

## デバイスへの高品質な信号伝送

テストの最も重要な課題は、デバイスとテスト間での高い信号品質を確保することです。T2000では同軸コネクタを採用することにより、高品質な信号伝送を保証します。また、パフォーマンス・ボードを経由する高速信号の減衰を補正するためのエンファシス機能や、イコライザ機能を、ドライバ/コンパレータに搭載しています。

## 差動Vol/Vohの測定機能

受信回路は、差動信号をシングル・エンド信号に変換し、High/Low個別のコンパレータで比較します。この方法によって差動インタフェースの立上がり・立下がり時間の測定が可能となり、差動信号の波形品質を容易に確認できます。



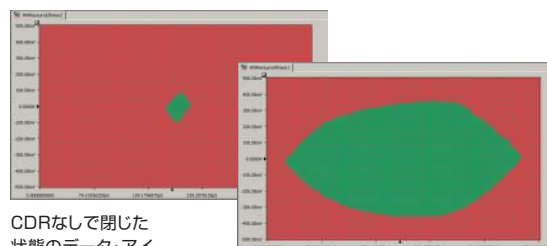
## マルチ・タイム・ドメイン

T2000のアーキテクチャは、マルチ・タイム・ドメイン機能に対応しています。FB-DIMM、PCI EXPRESS®、XAUIのような、複数の高速差動インタフェースを持つデバイスの試験には、このマルチ・タイム・ドメイン機能が不可欠になります。T2000システム・ソフトウェアのGUIツールを使って、各タイム・ドメインを一画面上で同時に表示、編集することができます。

## エンベデッド・クロック、ソース・シンクロナスをサポート

各チャンネルに、デバイス・データ出力のエッジの変化に合わせてストローブを追従するクロック・データ・リカバリ機能を搭載しています。

デバイスのクロック出力(ソース)に同期してデータを比較するクロック・トラッキング機能も搭載しています。

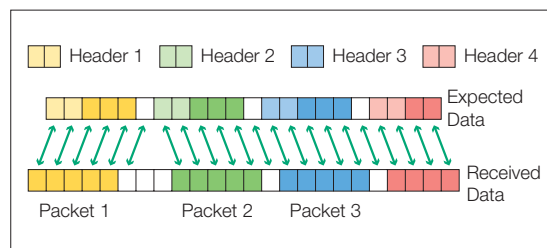


CDRなしで閉じた状態のデータ・アイ

CDRIによって大きく開いたデータ・アイ

## 不確定なデータ出力サイクルに対応

高速シリアル・インタフェースに特有の不確定なデータ出力サイクルに対応するヘッダ・ハント機能によって、ハードウェアでリアルタイムに位置合わせが実現できます。これまで複雑であったファンクション試験が容易となり、テスト・タイム短縮に貢献します。

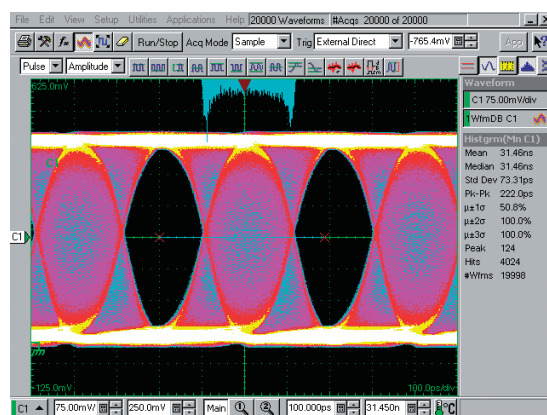


ヘッダ・ハント機能によるデータの位置合わせ

## さまざまなジッタ測定が可能

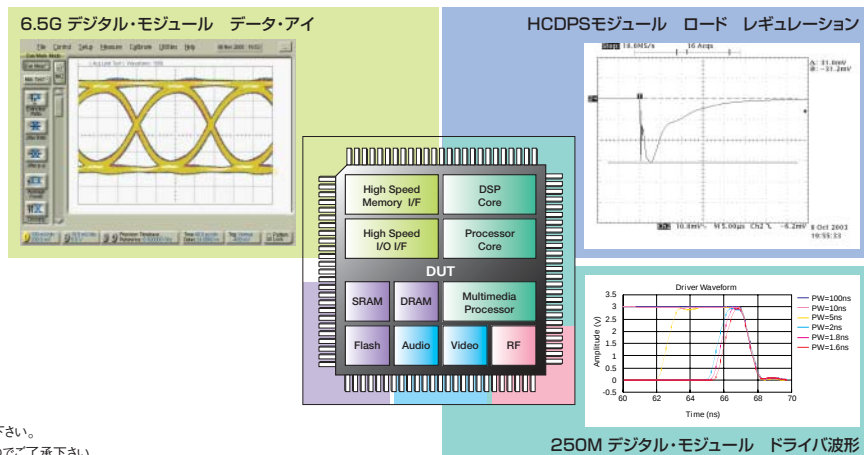
各チャンネルにジッタ・インジェクション機能を搭載し、ジッタ・マグニチュードとモジュレーション周波数を設定することが可能です。パー・ピン・アーキテクチャにより、複数ピンを同時に測定することができますので、テスト時間を短縮できます。

T2000テスト・システムは高速インタフェースの実動作試験を可能にし、ターン・アラウンド・タイム短縮、高品質・高機能なテスト環境を提供します。



各チャンネルにジッタ印加が可能

- OPENSTARは、米国、日本およびその他の国における登録商標です。
- PCI EXPRESSは、PCI-SIGの登録商標です。
- 本製品を正しくご利用いただくため、お使いになる前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
- 本カタログ記載の製品仕様および外観等は、予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。



# ADVANTEST®

<http://www.advantest.co.jp>

株式会社アドバンテスト

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング TEL:03-3214-7500 (代)  
第1販売部(本社) TEL:03-3214-7501 (大分オフィス) TEL:097-555-9570 第2販売部(西事務所) TEL:06-6368-9280 (名古屋オフィス) TEL:052-731-5990